

ピロリ菌で分かる胃がんのリスク



毎年日本人の約12万人が診断される胃がん。その胃がんと深い関わりのあるピロリ菌について正しく知ることが大切です。

ヘリコバクターピロリ菌って？



ピロリ菌は人の胃の粘膜にすみつく細菌のこと。
一度感染すると菌はそのまま胃の中に定着し、ほぼ一生持続します。

ピロリ菌に感染しやすい人は？

幼年期に衛生環境が良くなかった年代に感染している人が多く、環境の整った現代では、感染している人の数が低下しています。
また、免疫力がまだ十分でなく、胃酸の分泌も少ない乳幼児期に親族から口を介して感染している場合もあります。



感染したらどんな症状が出てくる？

ピロリ菌に感染すると胃炎を発症します。
感染状態が続くと、胃潰瘍、慢性胃炎、十二指腸潰瘍を発症し、胃の痛み、吐き気、貧血などの自覚症状が起こります。
その後、その一部が胃がんに進展します。
年齢や胃炎、萎縮の程度にもよりますが、ピロリ菌に感染した人の3~5%程度が10年後以降に胃がんになるというデータもあります。

胃がんの原因の
約8割がピロリ菌です



自分が感染しているかどうか確認するには？

西条市では、中学校2年生と年度末年齢が50歳になる市民を対象に、無料でピロリ菌感染検査を実施しています。



中学2年生

ピロリ菌は乳幼児期に感染し、それ以降はほとんど感染しないことから、感染が確定する中学生の時期が検査に最適です。
尿検査で結果が分かります。



今年50歳になる方

胃がんの罹患率や死亡率は、50代から増加しています。
そのため、50歳の節目に、胃がんのリスクを確認しておく心安いです。
血液検査で結果が分かります。

※今年度対象ではない方は有料になりますが、医療機関でも検査を受けることができます。

ピロリ菌の感染が分かれば、除菌治療をすることで胃がん発症のリスクを下げることができます！



ピロリ菌感染検査の時期を逃さないで！

健診をご予約ください！



西条市 総合健診

検索

西条市中央保健センター TEL:0897-52-1215